

Can-do リスト作成に向けた CEFR に基づくドイツ語到達目標試案

外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 人見明宏

0. はじめに

2012 年に採択された本学の「平成 24 年度グローバル人材育成推進事業構想調書(特色型)」では、外国語学部の専攻言語(第一外国語)および第二外国語のドイツ語について、以下の目標レベルを学生の 70%が達成することを目指している。

第二外国語としてのドイツ語	2 年修了時にドイツ語技能検定試験 4 級または CEFR A1
専攻言語としてのドイツ語	2 年修了時にドイツ語技能検定試験 3 級または CEFR A2 卒業時にドイツ語技能検定試験 2 級～準 1 級または CEFR B2

現在、上記の数値目標に到達した学生がドイツ語でどのようなことができるのかという、ドイツ語の自律学習に供する Can-do リストなどの作成が急務となっている。

2013 年 10 月、グローバル人材育成推進室に「e-portfolio ワーキンググループ」が発足した。このワーキンググループは、「グローバル人材育成推進事業で本学外国語学部が目標と定めた各語学検定試験の数値目標を技能別に到達目標として示すための原案を作成すること、および学生が自身の外国語学習の目標を設定し、学習の進捗を記録するための Can-do リスト作成、そのほか学生の自律学習のためのツールを manaba 上に整備すること」(江澤 / ファーン / 曲 / 高阪 / 宮谷(2014)p.1)を目指している。このワーキンググループで、英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語および日本語の 5 言語について、コミュニケーションの基本となる「話す」「やりとりする」「聞く」「読む」「書く」の 5 技能の「到達目標試案」が作成され、さらに、学生にとってイメージしやすいように、実際の言語活動の 4 領域(私的領域、公的領域、職業領域、教育領域)において何ができるのか、具体的な例が挙げられている(上掲書 p.3)。

本研究ノートでは、上記 5 言語にならない、CEFR に基づく Can-do リストを作成するための前段階として、ドイツ語の 5 技能の「到達目標試案」を作成し、(職業領域を除く)3 領域における具体例を挙げる。その際、主に「ヨーロッパ共通参照枠(CEFR)」および Goethe-Institut の検定試験の検定基準を、さらに公益財団法人ドイツ語学文学振興会「ドイツ語技能検定試験(独検)」の検定基準、大阪大学外国語学部の「専攻語到達度目標」なども参考にする。

1. CEFR の共通参照レベル「全体的な尺度」および「自己評価表」

以下に、CEFR の共通参照レベル「全体的な尺度」(吉島 / 大橋 他(訳・編)(2002)p.25)および「自己評価表」(上掲書 pp.28-29)を挙げる。

表 1 共通参照レベル: 全体的な尺度

熟達した言語使用者	C2	<p>聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。</p> <p>いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。</p>
	C1	<p>いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。</p> <p>言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。</p> <p>複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。</p>
自立した言語使用者	B2	<p>自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。</p> <p>お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。</p> <p>かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。</p>
	B1	<p>仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。</p> <p>その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。</p> <p>身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。</p>
基礎段階の言語使用者	A2	<p>ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。</p> <p>簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。</p> <p>自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。</p>
	A1	<p>具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。</p> <p>自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。</p> <p>もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。</p>

表 2-1 共通参照レベル: 自己評価表

		A1	A2
理解すること	聞くこと	はっきりとゆっくりと話してもらえれば、自分、家族、すぐ周りの具体的なものに関する聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取れる。	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分に関連した領域で最も頻繁に使われる語彙や表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。
	読むこと	例えば、掲示やポスター、カタログの中をよく知っている名前、単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。簡単で短い個人的な手紙は理解できる。
話すこと	やり取り	相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。通常は会話を続けていくだけの理解力はないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。
	表現	どこに住んでいるか、また、知っている人たちについて、簡単な語句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。
書くこと	書くこと	新年の挨拶など短い簡単な葉書を書くことができる。例えばホテルの宿帳に名前、国籍や住所といった個人のデータを書き込むことができる。	直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。短い個人的な手紙なら書くことができる: 例えば礼状など。

表 2-2

		B1	B2
理解すること	聞くこと	<p>仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。</p> <p>話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。</p>	<p>長い会話や講義を理解することができる。また、もし話題がある程度身近な範囲であれば、議論の流れが複雑であっても理解できる。</p> <p>たいていのテレビのニュースや時事問題の番組も分かる。</p> <p>標準語の映画なら、大部分は理解できる。</p>
	読むこと	<p>非常によく使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。</p> <p>起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。</p>	<p>筆者の姿勢や視点が出ている現代の問題についての記事や報告が読める。</p> <p>現代文学の散文は読める。</p>
話すこと	やり取り	<p>当該言語圏の旅行中に最も起こりやすいたいていの状況に対処することができる。</p> <p>例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。</p>	<p>流暢に自然に会話をすることができ、母語話者と普通にやり取りができる。</p> <p>身近なコンテキストの議論に積極的に参加し、自分の意見を説明し、弁明できる。</p>
	表現	<p>簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語るることができる。</p> <p>意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。</p> <p>物語を語ったり、本や映画のあらすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。</p>	<p>自分の興味関心のある分野に関連する限り、幅広い話題について、明瞭で詳細な説明をすることができる。</p> <p>時事問題について、いろいろな可能性の長所、短所を示して自己の見方を説明できる。</p>
書くこと	書くこと	<p>身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。</p>	<p>興味関心のある分野内なら、幅広くいろいろな話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。</p> <p>エッセイやレポートで情報を伝え、一定の視点に対する支持や反対の理由を書くことができる。</p> <p>手紙の中で、事件や体験について自分にとっての意義を中心に書くことができる。</p>

表 2-3

		C1	C2
理解すること	聞くこと	たとえ構成がはっきりしなくて、関係性が暗示されているにすぎず、明示的でない場合でも、長い話が理解できる。 特別の努力なしにテレビ番組や映画を理解できる。	生であれ、放送されたものであれ、母語話者の速いスピードで話されても、その話し方の癖に慣れる時間の余裕があれば、どんな種類の話し言葉も、難無く理解できる。
	読むこと	長い複雑な事実に基づくテキストや文学テキストを、文体の違いを認識しながら理解できる。 自分の関連外の分野での専門的記事も長い、技術的説明書も理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複雑な、例えばマニュアルや専門的記事、文学作品のテキストなど、事実上あらゆる形式で書かれた言葉を容易に読むことができる。
話すこと	やり取り	言葉をことさら探さずに流暢に自然に自己表現ができる。 社会上、仕事上の目的に合った言葉遣いが、意のままに効果的にできる。 自分の考えや意見を精確に表現でき、自分の発言を上手に他の話し手の発言にあわせることができる。	慣用表現、口語体表現をよく知っていて、いかなる会話や議論でも努力しないで加わることができる。 自分を流暢に表現し、詳細に細かい意味のニュアンスを伝えることができる。 表現上の困難に出合っても、周りの人がそれにほとんど気がつかないほどに修正し、うまく繕うことができる。
	表現	複雑な話題を、派生的問題にも立ち入って、詳しく論ずることができ、一定の観点を展開しながら、適切な結論でまとめ上げることができる。	状況にあった文体で、はっきりとすらすらと流暢に記述や論述ができる。効果的な論理構成によって聞き手に重要点を把握させ、記憶にとどめさせることができる。
書くこと	書くこと	適当な長さでいくつかの視点を示して、明瞭な構成で自己表現ができる。 自分が重要だと思ふ点を強調しながら、手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題を扱うことができる。 読者を念頭に置いて適切な文体を選択できる。	明瞭な、流暢な文章を適切な文体で書くことができる。 効果的な論理構造で事情を説明し、その重要点を読み手に気づかせ、記憶にとどめさせるように、複雑な内容の手紙、レポート、記事を書くことができる。 仕事や文学作品の概要や評を書くことができる。

2. Goethe-Institut の検定試験の検定基準

Goethe-Institut では、さまざまな検定試験が実施されているが、そのなかには、CEFR の 6 段階に依拠したものもある。まず、Goethe-Institut の HP に掲載されている、CEFR の共通参照レベル「全体的な尺度」に該当する部分を挙げる。ドイツ語はドイツ語版 HP (<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/deindex.htm>)、日本語は日本語版 HP (<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/>)

jaindex.htm) からのものである。

表 3-1

Elementare Sprachverwendung / 基礎段階の言語使用	
<p>A1</p> <p>Kann vertraute, alltägliche Ausdrücke und ganz einfache Sätze verstehen und verwenden, die auf die Befriedigung konkreter Bedürfnisse zielen. Kann sich und andere vorstellen und anderen Leuten Fragen zu ihrer Person stellen - z.B. wo sie wohnen, was für Leute sie kennen oder was für Dinge sie haben - und kann auf Fragen dieser Art Antwort geben. Kann sich auf einfache Art verständigen, wenn die Gesprächspartnerinnen oder Gesprächspartner langsam und deutlich sprechen und bereit sind zu helfen.</p>	<p>A2</p> <p>Kann Sätze und häufig gebrauchte Ausdrücke verstehen, die mit Bereichen von ganz unmittelbarer Bedeutung zusammenhängen (z. B. Informationen zur Person und zur Familie, Einkaufen, Arbeit, nähere Umgebung). Kann sich in einfachen, routinemäßigen Situationen verständigen, in denen es um einen einfachen und direkten Austausch von Informationen über vertraute und geläufige Dinge geht. Kann mit einfachen Mitteln die eigene Herkunft und Ausbildung, die direkte Umgebung und Dinge im Zusammenhang mit unmittelbaren Bedürfnissen beschreiben.</p>
<p>まず、日常生活の場面で短く簡単なドイツ語表現が理解でき、自分でも言えるようになります。例えば自己紹介ができ、相手に簡単な質問をしたり、それに答えたりできます。食事や買い物や旅行の場面で、相手がゆっくり明瞭に話してくれるなら、コミュニケーションが図れます。</p>	<p>毎日の生活で頻繁に使われる言葉や表現に慣れ、仕事や家族や故郷など、自分に関する事や日常的で具体的な生活に関する事なら、ドイツ語でコミュニケーションが図れます。また日常的に必要な事柄が、簡単な文章の形で表現できるようになります。</p>

表 3-2

Selbstständige Sprachverwendung / 自立した言語使用	
<p>B1</p> <p>Kann die Hauptpunkte verstehen, wenn klare Standardsprache verwendet wird und wenn es um vertraute Dinge aus Arbeit, Schule, Freizeit usw. geht. Kann die meisten Situationen bewältigen, denen man auf Reisen im Sprachgebiet begegnet. Kann sich einfach und zusammenhängend über vertraute Themen und persönliche Interessengebiete äußern. Kann über Erfahrungen und Ereignisse berichten, Träume, Hoffnungen und Ziele beschreiben und zu Plänen und Ansichten kurze Begründungen oder Erklärungen geben.</p>	<p>B2</p> <p>Kann die Hauptinhalte komplexer Texte zu konkreten und abstrakten Themen verstehen; versteht im eigenen Spezialgebiet auch Fachdiskussionen. Kann sich so spontan und fließend verständigen, dass ein normales Gespräch mit Muttersprachlern ohne größere Anstrengung auf beiden Seiten gut möglich ist. Kann sich zu einem breiten Themenspektrum klar und detailliert ausdrücken, einen Standpunkt zu einer aktuellen Frage erläutern und die Vor- und Nachteile verschiedener Möglichkeiten angeben.</p>

<p>明瞭な通常のドイツ語であれば、仕事や趣味や生活など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できます。例えば、旅行中に会うさまざまな出来事に対して、必要な対応ができ、また、自分の経験や夢・希望・目標などについて話すことができます。さらに、自分に身近なテーマがあれば、意見を述べたり、その論拠を説明したりできます。</p>	<p>抽象的で複雑なドイツ語で表現されても、その趣旨が理解できます。自分の仕事や専門分野に関する事柄なら、ドイツ語で行われる議論の内容が理解できるだけでなく、自分の立場や意見を述べたり、あるいはひとつの意見に対する利点と不利点を論述したりできます。日常的ないくつかのテーマでは、広い範囲にわたって明確に意見と情報が交換でき、ドイツ語を母国語とする人との間で、相互に困難を感じずに自然な会話が成立します。</p>
--	---

表 3-3

Kompetente Sprachverwendung / 熟達した言語使用	
<p>C1 Kann ein breites Spektrum anspruchsvoller, längerer Texte verstehen und auch implizite Bedeutungen erfassen. Kann sich spontan und fließend ausdrücken, ohne öfter deutlich erkennbar nach Worten suchen zu müssen. Kann die Sprache im gesellschaftlichen und beruflichen Leben oder in Ausbildung und Studium wirksam und flexibel gebrauchen. Kann sich klar, strukturiert und ausführlich zu komplexen Sachverhalten äußern und dabei verschiedene Mittel zur Textverknüpfung angemessen verwenden.</p>	<p>C2 Kann praktisch alles, was er / sie liest oder hört, mühelos verstehen. Kann Informationen aus verschiedenen schriftlichen und mündlichen Quellen zusammenfassen und dabei Begründungen und Erklärungen in einer zusammenhängenden Darstellung wiedergeben. Kann sich spontan, sehr flüssig und genau ausdrücken und auch bei komplexeren Sachverhalten feinere Bedeutungsnuancen deutlich machen.</p>
<p>ほとんどのテーマで、高度なドイツ語表現や長い文章が理解でき、また、その言外のニュアンスも感じ取れます。ドイツ人社会で、社会人として職業についたり大学で学んだりするのに必要十分な語彙と表現を使いこなし、複雑で微妙な内容を正確なドイツ語で表現することができます。</p>	<p>社会生活上、不自由なくすべてのことに対応できるドイツ語力があります。さまざまな分野の多様なテーマに関して、読む、書く、話す、聞くことが困難なくでき、また、ニュアンスにとんだ自然なドイツ語を正確に使うことができます。</p>

次に、Goethe-Institut の HP に掲載されている、検定試験の各レベルの検定基準で、CEFR の共通参照レベル「自己評価表」におおよそ該当する項目を挙げる。各上段のドイツ語はドイツ語版の HP に、各下段の日本語は日本語版の HP に掲載されているものである。上記表 3-1～3-3 に比べて、より具体的な例が記載されている。

表 4-1

Elementare Sprachverwendung / 基礎段階の言語使用	
<p>A1</p> <ul style="list-style-type: none"> • in Alltagssituationen kurze, ganz einfache Fragen, Anweisungen und Mitteilungen verstehen, aber auch Ansagen auf dem Anrufbeantworter, öffentliche Durchsagen sowie kurze Gespräche, • für Sie relevante Informationen aus schriftlichen Kurzmitteilungen, öffentlichen Hinweisschildern und Kleinanzeigen entnehmen, • Zahlen, Mengen, Uhrzeiten und Preise nennen und verstehen, • Formulare in Bezug auf einfache und persönliche Angaben ausfüllen, • kurze persönliche Mitteilungen schreiben, • sich im Gespräch vorstellen und einfache Fragen zu Ihrer Person beantworten, • im Alltag gebräuchliche Fragen und Bitten formulieren und darauf reagieren. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • 日常生活の場面での簡単な質問や指示、話、留守番電話のメッセージやアナウンス、短い会話を理解することができる • 短い伝達事項や掲示、広告などから、自分にとって重要な情報を取り出すことができる • 数字や量、時間や値段を言ったり、理解したりすることができる • 簡単なものであれば、所定の用紙に記入することができる • 短い個人的な文章を書くことができる • 会話で自己紹介をしたり、質問に答えたりすることができる • 身近な状況で質問やお願いをしたり、それらに反応したりすることができる 	<p>A2</p> <ul style="list-style-type: none"> • die wichtigsten Informationen in alltäglichen Gesprächen verstehen, aber auch kurze Ansagen aus dem Radio oder Mitteilungen am Telefon, • die wichtigsten Informationen aus kurzen Zeitungsartikeln, alltagsbezogenen Anzeigen und öffentlichen Hinweistafeln entnehmen, • in Geschäften, bei Banken oder Ämtern übliche Formulare ausfüllen, • Mitteilungen schreiben, die sich auf Ihr unmittelbares Lebensumfeld beziehen, • sich im Gespräch vorstellen und über die eigene Lebenssituation austauschen, • in Gesprächen Fragen zu Alltagsthemen stellen und beantworten, • in Alltagsgesprächen etwas vereinbaren oder aushandeln. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • 日常会話で非常に重要な情報を理解したり、短いラジオ放送や電話での会話を聞き取ったりすることができる • 短い新聞記事や身近にある広告、告示などを読んで、非常に重要な情報を取り出すことができる • 店や銀行、役所などにある所定の用紙に記入することができる • 身の回りのことについて短い文章を書くことができる • 会話をしながら自己紹介をしたり、身の回りのことについて話をしたりすることができる • 身近なテーマについて質問をしたり、質問に答えたりすることができる • 身近な場面で、人と約束をしたり、相談したりすることができる

(A1 ドイツ語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd1/deindex.htm>)

(A1 日本語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd1/jaindex.htm>)

(A2 ドイツ語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd2/deindex.htm>)

(A2 日本語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd2/jaindex.htm>)

表 4-2

Selbstständige Sprachverwendung / 自立した言語使用	
<p>B1</p> <ul style="list-style-type: none"> • die Hauptinformationen verstehen können, wenn klare Standardsprache verwendet wird und wenn es um vertraute Dinge aus Arbeit, Schule, Freizeit usw. geht. • die meisten Situationen bewältigen können, denen man auf Reisen in deutschsprachigen Ländern begegnet. • sich einfach und zusammenhängend über vertraute Themen und persönliche Interessensgebiete äußern können. • über Erfahrungen und Ereignisse berichten und Träume, Hoffnungen und Ziele beschreiben sowie kurze Begründungen oder Erklärungen geben können. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • 明確な標準的なドイツ語であれば、仕事や学校、余暇など日常的な事柄についてのドイツ語の発言や文章が理解できます • 旅行中に出会う様々な場面で必要な対応ができます • 身近なテーマであれば、簡潔かつ筋道をたてて意見を述べるすることができます • 自分の経験や夢・希望・目標などについて話したり、書いたりでき、その論拠を説明できます 	<p>B2</p> <ul style="list-style-type: none"> • die Hauptinhalte von konkreten und abstrakten Themen verfolgen und die für Sie relevanten Informationen (zum Beispiel in Radiosendungen) entnehmen • eine breite Palette von Texten verstehen, darunter sowohl kürzere Texte (wie etwa Anzeigen) als auch längere, komplexe Sachtexte, Kommentare und Berichte • sich schriftlich zu komplexen Sachverhalten klar und strukturiert äußern aber auch fehlerhafte Texte anderer korrigieren • klar strukturierte mündliche Darstellungen zu allgemeinen Themen und zu Themen aus eigenen Interessensgebieten abgeben • sich aktiv an Diskussionen zu Ihnen bekannten Themen beteiligen, dabei Stellung beziehen und eigene Standpunkte darlegen. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • 具体的あるいは抽象的なテーマについて内容を把握することができ、(ラジオ放送などを聴いて)自分にとって重要な情報を取り出すことができる • (広告のような)短い文章から比較的複雑で長い解説記事、報道記事などまで、さまざまな文章を理解することができる • 複雑な内容について、明瞭かつ構成のしっかりした文章を書くことができる。また、ほかの人の書いた文章の間違いを訂正することができる • 一般的なテーマや自分に関心のあるテーマについて、順序だてて話をするすることができる • 既知のテーマについて、議論に参加し、他人の意見に関連付けて自分の意見を述べるができる

(B1 ドイツ語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gzb/deindex.htm>)

(B1 日本語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gzb/jaindex.htm>)

(B2 ドイツ語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gb2/deindex.htm>)

(B2 日本語版 : <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gb2/jaindex.htm>)

表 4-3

Kompetente Sprachverwendung / 熟達した言語使用	
<p>C1</p> <ul style="list-style-type: none"> • längere Radiobeiträge, Radiosendungen und Vorträge ohne große Mühe verstehen, • eine breite Auswahl von Lesetexten verstehen, darunter längere, komplexere Sachtexte, Kommentare und Berichte, • sich in Aufsätzen über komplexe Sachverhalte schriftlich klar und strukturiert ausdrücken und dabei einen dem Leser angemessenen Ausdruck wählen, • sich mündlich spontan und fließend ausdrücken, eigene Stellungnahmen abgeben, Gedanken und Meinungen präzise formulieren und eigene Beiträge ausführlich darstellen. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • 比較的長いラジオ番組やラジオ放送、講演を聞き、容易に理解することができる • 比較的長い、複雑な内容の解説記事、報道記事など、さまざまな種類の文章を理解することができる • 複雑な内容について明瞭かつ構成のしっかりした文章を書き、読者に応じた表現を選ぶことができる • 自然かつ流暢に意見を述べることができ、自分の立場を明らかにし、考えや意見を明瞭かつ詳細に述べるができる 	<p>C2</p> <ul style="list-style-type: none"> • alles, was Sie auf Deutsch lesen und hören, mühelos verstehen • Informationen aus verschiedenen schriftlichen und mündlichen Quellen zusammenfassen und dabei Begründungen sowie Erklärungen zusammenhängend wiedergeben • sich spontan, sehr flüssig und genau ausdrücken und auch bei komplexeren Sachverhalten feinere Bedeutungsnuancen formulieren. <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> • ドイツ語で読み、聞いたことをすべて難なく理解できる。 • さまざまなタイプまたは分野のドイツ語を読んだり聞いたりして、その内容を根拠ならびに説明を関連付けながら要約できる。 • とっさに、よどみなく正確に考えを表現でき、内容が複雑でも微妙なニュアンスを的確に述べることができる。

(C1 ドイツ語版: <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gc1/deindex.htm>)

(C1 日本語版: <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gc1/jaindex.htm>)

(C2 ドイツ語版: <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/nc2/deindex.htm>)

(C2 日本語版: <http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/nc2/jaindex.htm>)

さらに、Goethe-Institut の HP で公開されている検定試験の Modellsatz (「想定問題」) (A1～C1) および Prüfungsziele, Testbeschreibung (「試験の目的、試験の詳細について」) (C2) にも、検定試験の各レベルの検定基準の具体例が記載されている。上掲の Goethe-Institut の HP 上の検定試験の各レベルの検定基準(表 4-1～4-3)とほぼ同じであるが、一部異なる箇所もあるため、以下に挙げる。

表 5-1

Elementare Sprachverwendung / 基礎段階の言語使用	
<p>A1</p> <ul style="list-style-type: none"> • in Alltagssituationen kurze, einfache Fragen, Anweisungen und Mitteilungen, Ansagen auf dem Anrufbeantworter, öffentliche Durchsagen sowie kurze Gespräche verstehen, • für sie relevante Informationen aus schriftlichen Kurzmitteilungen, öffentlichen Hinweisschildern und Kleinanzeigen entnehmen, • Zahlen, Mengen, Uhrzeiten und Preise nennen und verstehen, • Formulare ausfüllen, in Bezug auf einfache und persönliche Angaben, • kurze persönliche Mitteilungen schreiben, • sich im Gespräch vorstellen und einfache Fragen zur Person beantworten, • im Alltag gebräuchliche Bitten und Aufforderungen formulieren und darauf reagieren. 	<p>A2</p> <ul style="list-style-type: none"> • die wichtigsten Informationen in alltäglichen Gesprächen verstehen, aber auch kurze Ansagen aus dem Radio oder Mitteilungen am Telefon, • die wichtigsten Informationen aus kurzen Zeitungsartikeln, alltagsbezogenen Anzeigen und öffentlichen Hinweistafeln entnehmen, • in Geschäften, bei Banken oder Ämtern übliche Formulare ausfüllen, • Mitteilungen schreiben, die sich auf ihr unmittelbares Lebensumfeld beziehen, • sich im Gespräch vorstellen und über die eigene Lebenssituation austauschen, • in Gesprächen Fragen zu Alltagsthemen stellen und beantworten, • in Alltagsgesprächen etwas vereinbaren oder aushandeln.

(A1 : <http://www.goethe.de/lrn/pro/sd1/start%20deutsch%201%20modellsatz.pdf>)

(A2 : http://www.goethe.de/lrn/pro/sd2/A2_SD2_Modellsatz_2013_03_web.pdf)

表 5-2

Selbstständige Sprachverwendung / 自立した言語使用	
<p>B1</p> <ul style="list-style-type: none"> • die Hauptinformationen verstehen, wenn klare Standardsprache verwendet wird und wenn es um vertraute Dinge aus Arbeit, Schule, Freizeit usw. geht. • die meisten Situationen bewältigen, denen man auf Reisen in deutschsprachigen Ländern begegnet. • sich einfach und zusammenhängend über vertraute Themen und persönliche Interessensgebiete äußern. • über Erfahrungen und Ereignisse berichten und Träume, Hoffnungen und Ziele beschreiben sowie kurze Begründungen oder 	<p>B2</p> <ul style="list-style-type: none"> • komplexe gesprochene Standardsprache am Telefon und in Radiosendungen verstehen, dabei zu konkreten und abstrakten Themen die Hauptinhalte verstehen und für sich relevante Informationen entnehmen, • eine breite Palette von Texten verstehen, darunter sowohl kürzere Texte (z. B. Anzeigen) als auch längere, komplexere Sachtexte, Kommentare und Berichte, • sich in Briefen über komplexe Sachverhalte schriftlich klar und strukturiert ausdrücken und fehlerhafte Briefe anderer korrigieren, • klar strukturierte mündliche Darstellungen

Erklärungen geben.	zu allgemeinen Themen sowie zu Themen aus dem eigenen Interessengebiet geben, <ul style="list-style-type: none"> • sich in vertrauten Kontexten aktiv an informellen Diskussionen beteiligen, dabei Stellung nehmen und eigene Standpunkte darlegen.
--------------------	--

(B1 : http://www.goethe.de/lrn/prf/pro/b1_modellsatz_erwachsene.pdf)

(B2 : http://www.goethe.de/lrn/pro/gb2/B2_Modellsatz_04.pdf)

表 5-3

Kompetente Sprachverwendung / 熟達した言語使用	
C1 <ul style="list-style-type: none"> • längere Redebeiträge, Radiosendungen und Vorträge ohne allzu große Mühe verstehen, • eine breite Palette von Texten verstehen, darunter längere, komplexere Sachtexte, Kommentare und Berichte, • sich in Aufsätzen über komplexe Sachverhalte schriftlich klar und strukturiert ausdrücken und ein dem Leser angemessenes Register wählen, • sich mündlich spontan und fließend ausdrücken, Stellungnahmen abgeben, Gedanken und Meinungen präzise formulieren und eigene Beiträge ausführlich darstellen. 	C2 <ul style="list-style-type: none"> • ein breites Spektrum von Texten mühelos verstehen, auch wenn sie abstrakt oder inhaltlich und sprachlich komplex sind und dabei implizite Bedeutungen erfassen, • ein breites Spektrum gesprochener Sprache im direkten Gespräch wie in den Medien verstehen, auch wenn schnell gesprochen wird, • anspruchsvolle Texte verfassen, die einen Sachverhalt strukturiert darstellen und dabei klar, flüssig und stilistisch dem jeweiligen Adressaten und Zweck angemessen schreiben, • ausführlich frei vortragen sowie mühelos an einer Diskussion teilnehmen und dabei idiomatische Redewendungen angemessen benutzen und feinere Bedeutungsnuancen differenzieren.

(C1 : http://www.goethe.de/lrn/pro/gc1/C1_Modellsatz_05.pdf)

(C2 : http://www.goethe.de/lrn/pro/c2-neu/C2_Handbuch_Pruefziele.pdf)

3. ドイツ語技能検定試験の検定基準

公益財団法人ドイツ語学文学振興会「ドイツ語技能検定試験(独検)」は、1級から5級まで(準1級を含み)、CEFRと同様に6レベルに分類されている。しかし、検定試験の各レベルとCEFRとのおおよその対応関係が記載されている公益財団法人フランス語教育振興協会「実用フランス語技能検定試験」とは異なり、CEFRとの対応関係は不明である。しかし、本学のドイツ語目標レベルには、CEFRと独検のレベルを併記していることから、以下に独検の検定基準を挙げておく。

表 6

<p>5級 (Elementarstufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初歩的なドイツ語を理解し、日常生活でよく使われる簡単な表現や文が運用できる。 ・挨拶の表現が適切に使え。自分や他人を簡単に紹介することができる。 <p>広告やパンフレットなどの短い文の中心的内容が理解できる。</p> <p>必要に応じて簡単な数字やキーワードを書き取ることができる。</p>	<p>4級 (Anfängerstufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的なドイツ語を理解し、初歩的な文法規則を使って日常生活に必要な表現や文が運用できる。 ・家族、学校、職業、買い物など身近な話題に関する会話ができる。 <p>簡単な手紙や短い文章の内容が理解できる。</p> <p>比較的簡単な文章の内容を聞き、質問に答え、重要な語句や数字を書き取ることができる。</p>
<p>3級 (Grundstufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の初級文法全般にわたる知識を前提に、簡単な会話や文章が理解できる。 ・基本的なドイツ語を理解し、ほとんどの身近な場面に対応できる。 <p>簡単な内容のコラムや記事などの文章を読むことができる。</p> <p>短い文章の内容を聞き、簡単な質問に答え、重要な語句や数字を書き取ることができる。</p>	<p>2級 (Mittelstufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語の文法や語彙についての十分な知識を前提に、日常生活に必要な会話や社会生活で出会う文章が理解できる。 ・やや長めの文章の主旨を理解し、内容についての質問に答えることができる。 <p>具体的・抽象的なテーマについてのインタビューや短い記事の内容を聞き取ることができる。</p> <p>短いドイツ語の文を正しく書くことができる。</p>
<p>準1級 (Oberstufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語圏の国々における生活に対応できる標準的なドイツ語を十分に身につけている。 ・新聞などの比較的複雑な記事や論述文などを読むことができる。 <p>自分の体験などについて詳しく話し、社会的・実用的なテーマについて口頭で自分の考えを述べるができる。</p> <p>比較的長い文章の要点を聞き取り、短いドイツ語の文章を正しく書くことができる。</p>	<p>1級 (Höchststufe)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準的なドイツ語を不自由なく使え、専門的なテーマに関して書かれた文章を理解し、それについて口頭で意見を述べるができる。 ・複雑なテーマに関する話やインタビューの対話などの内容を正確に理解できる。 <p>複雑な日本語の文章をドイツ語に、ドイツ語の文章を日本語に訳すことができる。</p>

(http://www.dokken.or.jp/outline/kijun_j.pdf)

4. 大阪大学外国語学部の「専攻語到達度目標」

大阪大学外国語学部の HP には、各専攻語の到達度目標が掲載されている。相応する CEFR のレベルおよび「大学生」ができる具体例も挙がっており、非常に参考になる。以下では、ドイツ語の到達度目標を挙げる。

表 7

到達度目標				
	専攻語科目(1年実習)	専攻語科目(2年実習)	専攻語科目(演習)	
理解すること	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭にゆっくり話されれば、教員による課題の指示・説明を理解できる。 ・話し方が明瞭でゆっくりしており、よく使われる簡単な語句や表現による説明であれば、概略を理解できる。 ・たとえば公共交通機関など、身の回りの領域に特に頻出する語彙や簡単な表現を理解できる。 相当レベル CEFR/A1～A2	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の基本的な事柄の範囲で、視覚資料などがあれば、教員の説明や他の学生の発言を理解できる。 ・社会や文化に関して、明瞭な標準語であれば、基本的な事柄の範囲で、課題についての指示や説明を理解できる。 ・たとえば自分や家族、買い物、近所、仕事など身近な領域について、明瞭な標準語であれば、要点を理解できる。 相当レベル CEFR/A2～B1	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ丁寧な解説があれば、講義や長い会話の要点を理解できる。 ・あらかじめ丁寧な解説があれば、テレビのニュース番組や時事問題の番組を聞いて要点を理解できる。 ・あらかじめ丁寧な解説があれば、標準語の映画やドラマの大筋を理解できる。 相当レベル CEFR/B1～C1
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書用に編集された文章や、日常的テーマを持つ平易な表現、未習語彙の少ない文章であれば、辞書を用いて読解できる。 ・やや抽象性の高いテキストは、辞書を用いて時間がかければ読解できる。 ・たとえば標識やポスター、カタログなどに書かれ、よく知られた語彙や平易な表現であれば読解できる。 相当レベル CEFR/A1～A2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な文章や、日常的テーマを持つ平易で短く具体的なテキストであれば、その場で読解できる。 ・構文がやや複雑で抽象性の高いテキストは、辞書を用いて時間がかければ読解できる。 ・たとえば広告、パンフレット、メニューなど具体的で視覚的なものは、その場で必要な情報を読解できる。 相当レベル CEFR/A2～B1	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の立場や意見が表明されているエッセイや雑誌・新聞記事について、辞書を用いながら読解できる。 ・散文による文学作品などのテキストについて、辞書を用いながら読解できる。 ・複雑で高度な内容を持つテキストについて、辞書を用いながら読解できる。 相当レベル CEFR/B1～C1
	やりとり(会話への参加)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による手助けがあれば、教科書の内容や日常生活の話題、必要性の高い現在の事柄について、簡単なやり取りができる。 ・学生同士のペア練習で相手となんとかやり取りできる。 ・定型的なミニダイアログに基づいたやり取りができる。 相当レベル CEFR/A1～A2	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題の議論について、積極的に参加し自分の意見を述べ、主張することができる。 ・授業やネイティブ教員との会話の際にやり取りを続けることができる。 ・ネイティブとの日常会話でやりとりを続けることができる。 相当レベル CEFR/B1～C1	
	話すこと			

表出	表現（一人で言う報告など）	<ul style="list-style-type: none"> •時間をかけて準備すれば、関心のあるテーマについて、ごく短い発表を行うことができる。 •自分の大学生活や日常生活の現在の事柄について、大筋を表現することができる。 •たとえば自分のこと、自分の町、周囲の人たちについて、簡単な語彙や表現を使って説明できる。 <p>相当レベル CEFR/A1～A2</p>	<ul style="list-style-type: none"> •一定の準備時間があれば、写真や図表などの視覚材料を用いて、数分程度の発表を行うことができる。 •自分の大学生活や日常生活の事柄について、過去と未来のことも含めて、大筋を表現することができる。 •たとえば家族、周囲の人々、住居の事情、学業、職業などについて、豊かな語彙・イディオム・自然な言い回しを使って表現できる。 <p>相当レベル CEFR/A2～B1</p>	<ul style="list-style-type: none"> •関心を持つテーマについて、的確な説明がある程度できる。 •大学生活や社会一般の事柄について、異なる立場や考え方を挙げて、的確な説明ができる。 •たとえば時事問題について、場面に合った語彙や表現を使って的確な説明ができる。 <p>相当レベル CEFR/B1～C1</p>
書くこと		<ul style="list-style-type: none"> •時間をかけて準備すれば、教科書やビデオのテキストの要約を書くことができる。 •身近な日常生活のテーマについて、文法的誤りが多少あっても、理解可能な文を書くことができる。 •教科書の課題の文章を書くことができる。 <p>相当レベル CEFR/A1～A2</p>	<ul style="list-style-type: none"> •一定の準備時間があれば、自分の趣味・関心事、余暇の過ごし方など身近なテーマに関して、短い説明文や報告文を書くことができる。 •身近な社会・文化的テーマについて、文法的誤りの少なく整ったテキストを書くことができる。 •簡単な事柄についてのメモやメッセージ、手紙やEメールなどを書くことができる。 <p>相当レベル CEFR/A2～B1</p>	<ul style="list-style-type: none"> •関心を持つテーマについて、幅広く客観的な説明文を書くことができる。 •いくつかの視点から、賛成や反対の理由を含めて、報告文などとして書くことができる。 •卒業論文について、専門用語を用いながら、その要旨を書くことができる。 <p>相当レベル CEFR/B1～C1</p>
その他	(1・2年次) 目標言語圏又は日本で実施されている公定式語学検定試験についての概要 (3・4年次) 言語の応用力及び地域文化の専門的知識の習得	<p>日本で受検可能なドイツ語検定試験は以下の通り:</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本の公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催のドイツ語技能検定試験(独検、5級から1級までの6段階) ②ドイツのゲーテ・インスティテュートが実施する各種ドイツ語検定試験(Goethe-Zertifikat、初級から上級まで各種あり) ③ドイツのテスト・ダフ・インスティテュートが実施するドイツ語能力検定試験(TestDaF、Test Deutsch als Fremdsprache、中級から上級までの3段階) ④オーストリア政府公認のドイツ語能力検定試験(ÖSD、Österreichisches Sprachdiplom Deutsch、初級から上級までの6段階) <p>上記検定試験は年2～5回実施される。日程や開催場所については各サイト上の最新情報を参照すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> •ゼミ発表やプレゼンテーションのために、関連文献や資料を検索し、読解した上で利用することができ。 •自分の専門とするドイツ語圏のテーマ領域について、問題点を挙げながら相手に伝えることができる。 •ドイツ語圏の言語や文化、社会についての背景知識をふまえ、日本の言語や文化、社会との相関性を把握して、対照的観点から論述できる。 •卒業論文のためにドイツ語の関連文献や資料を収集し、評価を加えつつ論述に組み込むことができる。また口頭試問の際に、ドイツ語や母語の資料を用いながら論述することができる。 	

(<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/kyoumu/ns/st.html>)

5. 本学のドイツ語到達目標試案

以上、CEFR、Goethe-Institut、独検、大阪大学外国語学部における検定基準および到達度目標などを参考に、本学のドイツ語「到達目標試案」を提示する。本学のドイツ語の目標レベルは、CEFR B2 を最上位としていることから、以下では、A1 から B2 までの 4 レベルを対象とする。

表 8-1-1 【到達目標:聞く】

領域	CEFR A1	CEFR A2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり明瞭に話してくれれば、日常生活の場面での短い、ごく簡単な表現や会話が理解できる。 ・数字を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話で非常に重要な情報が理解できる。 ・自分に直接関わりのある身近な事柄について、よく用いられる語彙・表現を理解できる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族、身近なものについて、聞き慣れた語やごく基本的な表現を聞き取る。 ・短い、ごく簡単な質問や話、留守番電話のメッセージを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話で非常に重要な情報を理解する。 ・明瞭で短いラジオ放送や電話でのメッセージを理解する。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場での短く明瞭で簡単なアナウンスで、非常に重要な情報を理解する。 ・数量・時刻・値段などを聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場での短く明瞭で簡単なアナウンスの要点を理解する。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による短く明瞭でごく簡単な指示を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による短い、簡単な指示・説明を理解する。

表 8-1-2

領域	CEFR B1	CEFR B2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・明瞭な標準語であれば、日常的な事柄についての発言の主な情報が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的で複雑な表現でも、その大意が理解できる。 ・具体的あるいは抽象的な話題について大意を理解でき、自分にとって重要な情報を取り出すことができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や学校、余暇など日常的な事柄について、明瞭な標準語で語られた発言の主な情報を理解する。 ・時事問題などについて、比較的ゆっくり、明瞭に話された短い放送の要点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやラジオのニュースや時事問題の番組の大意を理解する。 ・標準語の映画の内容をおおむね理解する。

公的領域の タスク例	・公共の場での明瞭なアナウンスを理解する。	・個人的に関心のあるテーマについて、議論の内容をおおむね理解する。
教育領域の タスク例	・教師による、課題の説明・指示を理解する。	・事前に準備をして、自分の専門分野に関する講義の内容をおおむね理解する。

表 8-2-1 【到達目標:読む】

領域	CEFR A1	CEFR A2
できること	・短い文章から、自分にとって重要な情報を読み取ることができる。	・短い文章から、非常に重要な情報を読み取ることができる。
私的領域の タスク例	・短いメモから、自分にとって重要な情報を読み取る。	・個人的な内容の短い簡単な手紙を理解する。
公的領域の タスク例	・公共の場での案内標識や短い広告から、重要な情報を読み取る。	・公共の場での掲示、短い新聞記事、日常生活に関する広告から、非常に重要な情報を読み取る。
教育領域の タスク例	・教科書の短い簡単な文章の主な内容を、既習の語彙・構文から、理解する。	・教科書の短い文章の主な内容を理解する。

表 8-2-2

領域	CEFR B1	CEFR B2
できること	・標準語であれば、日常的な事柄について書かれた文章の主な情報が理解できる。	・比較的複雑で長い解説記事、報道記事も含め、さまざまな文章の大意を理解できる。
私的領域の タスク例	・仕事や学校、余暇など日常的な事柄について、標準語で書かれた文章の主な情報を理解する。	・辞書を引きながら、小説などを読む。
公的領域の タスク例	・公共の場での掲示を読み取る。 ・施設の利用規則の主な内容を理解する。	・比較的複雑で長い解説記事、報道記事から重要な情報を理解する。
教育領域の タスク例	・教科書の日常的な内容の文章の大意を理解する。 ・辞書を引きながら、入門書を読む。	・辞書を引きながら、専門書を読む。

表 8-3-1 【到達目標: やりとりする】

領域	CEFR A1	CEFR A2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり明瞭に話してくれれば、自分に関する簡単な質問に答えることができる。 ・日常よく用いられる質問・依頼に反応することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話で互いに自己紹介し合うことができる。 ・身近で日常的な事柄について質問・返答ができる。 ・日常生活の場面で、簡単な約束・相談ができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に関する簡単な質問に答える。 ・日常よく用いられる質問・依頼に反応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話で互いに自己紹介し合う。 ・自分や日常生活に関する事柄について、質問・返答する。 ・友人と簡単な約束・相談をする。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・買い物・旅行の場面で、ゆっくり明瞭に話してくれる相手とごく簡単なやりとりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日用品などの買い物をする。 ・丁寧な表現を用いて、短い社交的なやりとりをする。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による簡単な問いかけ・指示に反応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が手助けすることによって、学生同士のペア練習でやりとりする。

表 8-3-2

領域	CEFR B1	CEFR B2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行中に遭遇するたいていの事態に対処できる。 ・日常生活や関心のある話題について、準備をすることなく、話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に身近な話題に関する会話・議論に積極的に参加でき、自分の態度を表明したり、立場や意見を述べるることができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事などについて、準備をすることなく、話し合う。 ・旅行の計画やその変更について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なテーマや関心のあるテーマに関して、意見交換・情報交換する。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の目的や予定、旅行中の事故などについて、簡単な質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門分野に関する議論の大意を理解し、自分の立場や意見をごく簡単に述べる。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・講読の教科書の内容について、教師やクラスメートと簡単な意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備をして、卒業論文のテーマに関する質問に答える。

表 8-4-1 【到達目標:話す】

領域	CEFR A1	CEFR A2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・定型的な挨拶の表現を使うことができる。 ・自分や家族を簡単に紹介することができる。 ・短い、簡単な質問・依頼をすることができる。 ・数字を用いた表現を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備していれば、身近で日常的な事柄について話すことができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族を簡単に紹介する。 ・時刻を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備して、家族、友人、日常生活、学業について話す。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族を簡単に紹介する。 ・数量を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺失物など、自分の持ち物について簡単に述べる。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・教室で、教員や同級生に、簡単な自己紹介をする。 ・教師に繰り返しや話し方の変更を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備して、家族、友人、日常生活、学業について話す。

表 8-4-2

領域	CEFR B1	CEFR B2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や関心のある話題について、簡潔に筋道を立てて話すことができる。 ・簡潔に理由や説明を表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な話題や関心のある話題について、順序立てて話をするができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や出来事について、簡潔に筋道を立てて話す。 ・夢、希望、目標について説明し、その理由を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なテーマや関心のあるテーマについて、自分の意見やその理由を話す。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行の目的や予定について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分な準備をして、自分の専門分野に関してプレゼンテーションをする。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・講読の教科書のあらすじを語り、自分の意見や理由を簡潔に挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備をして、卒業論文のテーマについて説明する。

表 8-5-1 【到達目標:書く】

領域	CEFR A1	CEFR A2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に関する短い文を書くことができる。 ・数字や簡単なキーワードを書きとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に直接関わりのある身近な事柄について、短い文章を書くことができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・短い絵葉書やグリーティングカードなどを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に必要な事柄を、メモや簡単な文章で表す。 ・個人的な内容の短い簡単な手紙を書く。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・所定の用紙に簡単な個人データを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・店、銀行、役所で通常 of 所定の用紙に記入する。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族について、短い、簡単な文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題などで、自分に直接関わりのある身近な事柄について、短い文章を書く。

表 8-5-2

領域	CEFR B1	CEFR B2
できること	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題や関心のある話題について、簡潔でつながりのある文章を書くことができる。 ・簡潔に理由や説明を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な内容について、明瞭かつ構成のしっかりした文章を書くことができる。 ・ほかの人の書いた文章の間違いを訂正することができる。
私的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験や出来事について、簡潔でつながりのある文章を書く。 ・夢、希望、目標について書き、その理由を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なテーマや関心のあるテーマについて、自分の意見やその理由を書く。 ・ドイツ語が母語ではない知人の手紙の間違いを訂正する。
公的領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔な履歴書や簡単な志願理由などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する詳細な情報を求める標準的な手紙を書く。
教育領域の タスク例	<ul style="list-style-type: none"> ・講読の教科書のあらすじを書き、自分の意見や理由を簡潔に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成のしっかりした、卒業論文の要旨を書く。

6. 今後の課題

上記の到達目標は試案に過ぎず、今後は、特に本学のドイツ語学習者である「大学生」にとってより適切な到達目標を設定する必要がある。その際、CEFR の 5 技能に加えて、「文字言語によるやりとり」という 1 技能を加える必要があるだろう。たとえば、Goethe-Institut の各検定試験の Prüfungsziele, Testbeschreibung (試験の目標と概要) には、mündliche Interaktion (口頭でのやりとり) に対応するものとして schriftliche Interaktion (文書によるやりとり) が設定されている。

E メールや SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) が身近な存在となり、若者にとって欠かせないコミュニケーション・ツールとなっている現在、この「文字言語によるやりとり」という技能の重要度は非常に高いと言えよう。この 6 技能の分類に関しては、以下のとおりである。

受容		産出		やりとり	
聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと	音声言語によるやりとり	文字言語によるやりとり

次に、各到達目標レベルで学習者ができる言語行動を整理し、Can-do リストを作成することが、今後の課題である。その際、考慮しなくてはならないのは、主体が大学生であること、言語使用場面が日本国内の大学の教室、ドイツ人留学生との交流、ドイツ語圏の国々での滞在時(旅行、留学)であることである。このような、いわば「制約」のもとで、Can-do リストを作成する際に参考となる文献・資料を以下に挙げておく。

- 1) Goethe-Institut の各検定試験の Prüfungsziele, Testbeschreibung (試験の目標と概要)
これは、ドイツ語の Can-do リストを作成するために不可欠な資料である。上記の 6 技能ごとに多数の Can-do statement が記載されている。
- 2) 『CEFR-J を活用するための‘Can Do’ Descriptor リスト』
約 650 の Can-do statement が、レベル別、言語使用場面別に分類されたリストで、written interaction の技能や授業場面などの Can-do statement もあり、大いに参考になる。
- 3) 『JF 日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック』 第二版
日本語の Can-do statement の例のほか、学習者による Can-do リストの効果的な利用方法が記載されている。
- 4) 「英検 Can-do リスト一覧」
英検の 7 レベルごとの Can-do statement が記載されている。欧米の言語を学習している日本人を対象としている点で、参考になる。
- 5) 「日本語能力試験 Can-do 自己評価リスト (JLPT Can-do)」
日本語の(「やりとり」を除く)4 技能の Can-do リストで、技能ごとに 20 の Can-do statement が記載されている。
- 6) 『外国語教育のめやす 2012 - 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言 -』
中国語・韓国語を学ぶ高校生(から大学生)を対象とした、15 の話題分野(「自分と身近な人びと」「学校生活」「交通と旅行」など)と 4 段階の言語レベル別の Can-do statement が多数記載されている。特に若者の言語使用場面が豊富であり、参考になる。

[参考文献]

- 江澤照美 / エデボールズ・ファーン / 曲明 / 高阪香津美 / 宮谷敦美 (2014) : 『e-portfolio WG 2013 年度報告書』 愛知県立大学グローバル人材育成推進室
- 公益財団法人国際文化フォーラム (2012) : 『外国語教育のめやす 2012 - 高等学校の中国語と韓国語教育からの提言 -』
- 塩澤真季 / 石司えり / 島田徳子 (2010) : 「言語能力の熟達度を表す Can-do 記述の分析 - JF Can-do 作成のためのガイドライン策定に向けて -」 『日本語教育紀要』 6 号、pp.23-

- 投野由紀夫(2012):『CEFR-Jを活用するための‘Can Do’ Descriptor リスト』東京外国語大学
投野由紀夫研究室 (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/092/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2012/09/24/1325972_2_3.pdf;2014年11月9日閲覧)
- 独立行政法人国際交流基金(2010):『JF 日本語教育スタンダード 2010』第二版
- 独立行政法人国際交流基金(2010):『JF 日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック』
第二版
- 吉島茂 / 大橋理枝 他(訳・編)(2002):『外国語教育Ⅱ ー外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社

[参考ホームページ]

Goethe-Institut. Unsere Prüfungen

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat A1: Start Deutsch 1

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd1/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd1/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat A1: Start Deutsch 1. Modellsatz

<http://www.goethe.de/lrn/pro/sd1/start%20deutsch%201%20modellsatz.pdf>

(2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat A2: Start Deutsch 2

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd2/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/sd2/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat A2: Start Deutsch 2. Modellsatz

http://www.goethe.de/lrn/pro/sd2/A2_SD2_Modellsatz_2013_03_web.pdf

(2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat B1

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gzb/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gzb/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat B1. Modellsatz Erwachsene

http://www.goethe.de/lrn/prf/pro/b1_modellsatz_erwachsene.pdf(2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat B2

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gb2/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gb2/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat B2. Modellsatz

http://www.goethe.de/lrn/pro/gb2/B2_Modellsatz_04.pdf(2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat C1

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gc1/deindex.htm> (ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/gc1/jaindex.htm> (日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat C1. Modellsatz

http://www.goethe.de/lrn/pro/gc1/C1_Modellsatz_05.pdf(2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat C2: GDS

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/nc2/deindex.htm>(ドイツ語版;2014年11月7日閲覧)

<http://www.goethe.de/lrn/prj/pba/bes/nc2/jaindex.htm>(日本語版;2014年11月7日閲覧)

Goethe-Zertifikat C2. Prüfungsziele, Testbeschreibung

http://www.goethe.de/lrn/pro/c2-neu/C2_Handbuch_Pruefziele.pdf

(2014年11月7日閲覧)

愛知県立大学「平成24年度グローバル人材育成推進事業構想調書(特色型)」

http://www.jsps.go.jp/j-gjinzai/data/shinsa/h24/gjinzai_chousho_b14.pdf

(2014年11月20日閲覧)

大阪大学外国語学部「専攻言語について」

<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/kyoumu/ns/st.html>(2014年11月15日閲覧)

公益財団法人ドイツ語学文学振興会「ドイツ語技能検定試験(「独検」)検定基準」

http://www.dokken.or.jp/outline/kijun_j.pdf(2014年11月8日閲覧)

公益財団法人日本英語検定協会「英検 Can-do リスト一覧」

<http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/cando/list.html>(2014年11月9日閲覧)

財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金日本語能力試験「日本語能力試験 Can-do 自己評価リスト(JLPT Can-do)」

http://www.jlpt.jp/about/pdf/cdslist_all.pdf(2014年11月8日閲覧)